

Tarouca

について



写真: Câmara Municipal de Tarouca

タロウカ

タロウカ (Tarouca) の町が生まれるにあたっては、この地域の修道院が大きな役割を果たしましたが、特にサン・ジョアン・デ・タロウカ修道院 (Mosteiro de São João de Tarouca) はその中心となりました。この修道院はイベリア半島でシトー修道会が最初に (12世紀) 建てたもので、その支配は北ポルトガルの大部分の地域に及びました。

サンタ・マリア・デ・サルゼダス (Santa Maria de Salzedas) と称するこの地域のもう1つの大きな修道院は、おそらく12世紀に建てられたものですが、こちらも非常に裕福な修道院でした。

13世紀に作られたウカニャ (Ucanha) の強化橋梁はポルトガルでもユニークな橋です。これは封建時代、ラメゴ (Lamego) とリバ・コア (Riba Côa) の間にあるこの領土を通過する者には誰であろうと通行料が課せられたことを示すものです。

この地域のもう1つの大きな特徴は農業が豊かに営まれていることです。特にブドウ畑のブドウからは、国内で最も上等のスパークリングワインが生産されています。